



弓削高等学校

<https://ehm-yuge-h.esnet.ed.jp/>


盛り上がりました、文化祭！

11月3日(日)に令和元年度文化祭を行いました。テーマは「アオハル～青春を乗せて咲き誇れ満開の声～」でした。テーマのとおり、合唱コンクールは全てのクラスのハーモニーが咲き誇り、体育館が感動に包まれました。多数の方にご来校いただき、模擬店も大いに盛り上がりしました。恒例の弓削高フェスでは有志の生徒がダンスや歌を披露し、観客を楽しませていました。教員バンド「弓削パラ」も結成され、初コンサートを行い



合唱コンクール優勝3年生

ました。弓削パラの今後の活躍にも注目したいと思います。



毎年好評のもち販売



弓削パラ初コンサート！

ホームページリニューアル！

弓削高校のホームページをリニューアルしました。皆さんに楽しんでもらえる記事を毎日載せられるように頑張りますので、ぜひご覧ください！
<https://ehm-yuge-h.esnet.ed.jp/>

各部新人戦東予地区予選へ

各運動部の新人戦東予地区予選が行われました。体育活動部の吉田さんが柔道で東予地区ベスト4に勝ち上がり、県大会への切符を手に入れました。バドミントン部も県大会へ出場します。よい成績が残せるように頑張ります。



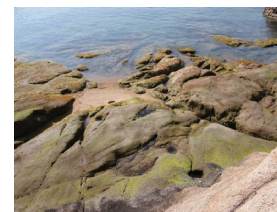
東予地区予選の様子

令和2年4月からの
下宿先募集！

連絡先 ☎77-2021
(弓削高校 教頭 大塚)

上島の遺跡 16

荘園と海賊衆



亀山城跡の岩礁ピット(岩城)

上島町域に存在した荘園は、12世紀の中頃から古文書に登場し始めます。弓削島荘の場合、成立当初の領家は明らかではありませんが、鳥羽上皇や後白河上皇が本家(上級の領主)であったと考えられています。後に荘園は後白河上皇から皇女の宣陽門院に譲られ、さらに宣陽門院は延応元(1239)年にこれを弘法大師ゆかりの東寺に寄進し、東寺領としての弓削島荘の歴史が始まりました。一方、佐島、生名島、岩城島は石清水八幡宮の荘園だったことが『石清水八幡宮文書』から分かっています。荘園とは、「田地を主体とした大規模な私的所有地」を意味し、土地生産物の生ずる場であったことから、当時の社会的・経済的な基盤でした。

やがて、芸予諸島では「村上海賊」と呼ばれる海賊衆が台頭し、その本拠地である海城が各地に築城されました。平

成28年4月に中世の村上海賊に関するストーリーが日本遺産に認定されましたが、能島村上氏の存在を示す最も古い記録は『東寺百合文書』の中で確認することができます。それによると貞和5(1349)年に幕府の使節が弓削島を訪れた際に、能島村上氏は海上警護に当たっていたことが分かります。

芸予諸島の代表的な海城としては、今治市の見近城跡、能島城跡、来島城跡が挙げられます。海城の海岸部には、岩礁ピットと呼ばれる繫船施設の柱穴跡が見られることがあります。現在の島嶼部の海岸の多くは護岸工事等によって中世的な景観が改変されていますが、岩城島の岩城八幡神社にある亀山城跡の丘陵の南の海岸部には今でも岩礁ピットを観察することができます。その一部は鳥居用の柱穴跡と考えられています。

教育課
学芸員 有馬啓介



弓削商船高等専門学校

<http://www.yuge.ac.jp/>


高井神島で海岸清掃活動

10月16日(水)、情報工学科1年生35名が「地域創生演習」の一環として、上島町高井神島で海岸清掃のボランティア活動を行いました。当日高井神島へは、本校実習船「はまかぜ」で行き、約1時間の活動で廃プラゴミ約100kg、びん・缶類10kg、その他大量の粗大ゴミを収集しました。



参加した学生からは「プラスチックは、便利だけれどもポイ捨てすると自然環境を壊しかねないので、もっと意識するようにしたい」

等の意見が聞かれました。

専攻科(海上輸送システム工学専攻)入学式を挙

10月1日(火)、午前10時30分より、本校第一会議室において、専攻科(海上輸送システム工学専攻)入学式が挙行されました。



式では、石田校長より「皆さんが身につけなければならない能力には、海運業界のデジタル化に対応できる高度な工学的センスが必要不可欠になります。情報工学科があり、生産システム工学専攻もある本校の教育環

境を有効に活用して、二年間を充実したものとしてください。」と式辞がありました。専攻科入学生2名が、さらに高度な技術者を目指し二年間の学生生活のスタートを切りました。

ブックハンティングを実施

10月5日(土)、広島市の大型書店で、有志の学生12名によるブックハンティングを開催しました。学生たちは一人あたり一万円を上限とし図書館に入れる本の選定を行いました。図書館にコーナーを設置していますので、ぜひ皆さま借りにお越し下さい。



島おこし協力隊活動報告

気合十分！3年目に突入

こんにちは。ゆめしま未来塾の中裏です。最近陽が落ちるのもすっかり早くなり、寒さも増してきました。冬支度と言わんばかりに食がすすみ、私の体重も増してきたように思えます。

さて、先月の11月1日にゆめしま未来塾は2周年を迎えました！最初は、どうなることかと思っておりましたが、役場の方、学校の先生方、そして生徒や保護者、ひいては地域の皆様のおかげでなんとかここまでやってこれました。おかげさまで全校生徒の半数以上が塾生となり、みんな自分の目標にむけてしっかりと勉強してくれています。

夏には昨年に引き続き、東京大学の学生がインターンにきてくれ、英語の楽しさや受験の先輩としてのアドバイスをたくさん生徒達に与えてくれました。そして現在は受験生の最後の追い

込みがスタートしました。自分達の将来に向かって真剣に勉強する姿は後輩たちにとっても非常にいい刺激となってくれているようで、1,2年生は期末テストにむけて各々のリズムで一生懸命勉強してくれています。

そして、私たちもその姿に刺激をうけつつ次の「おとなるゼミ(社会にでてから役立つ能力を養う授業)」の準備の真っ最中！12月の末にはまたまた地域の方をお呼びしての授業を実施予定です！是非皆さんご参加ください！(※詳しくはFacebookやHPで改めてお知らせします！)

重ね重ねですが、こうして3年目のスタートを切れたのは皆さまの力添えあってのことです。目の前の子ども達のためにも、変わらぬご支援とご協力のほどよろしくお願いいたします。



講師4人の面々

島おこし協力隊
中裏 修平